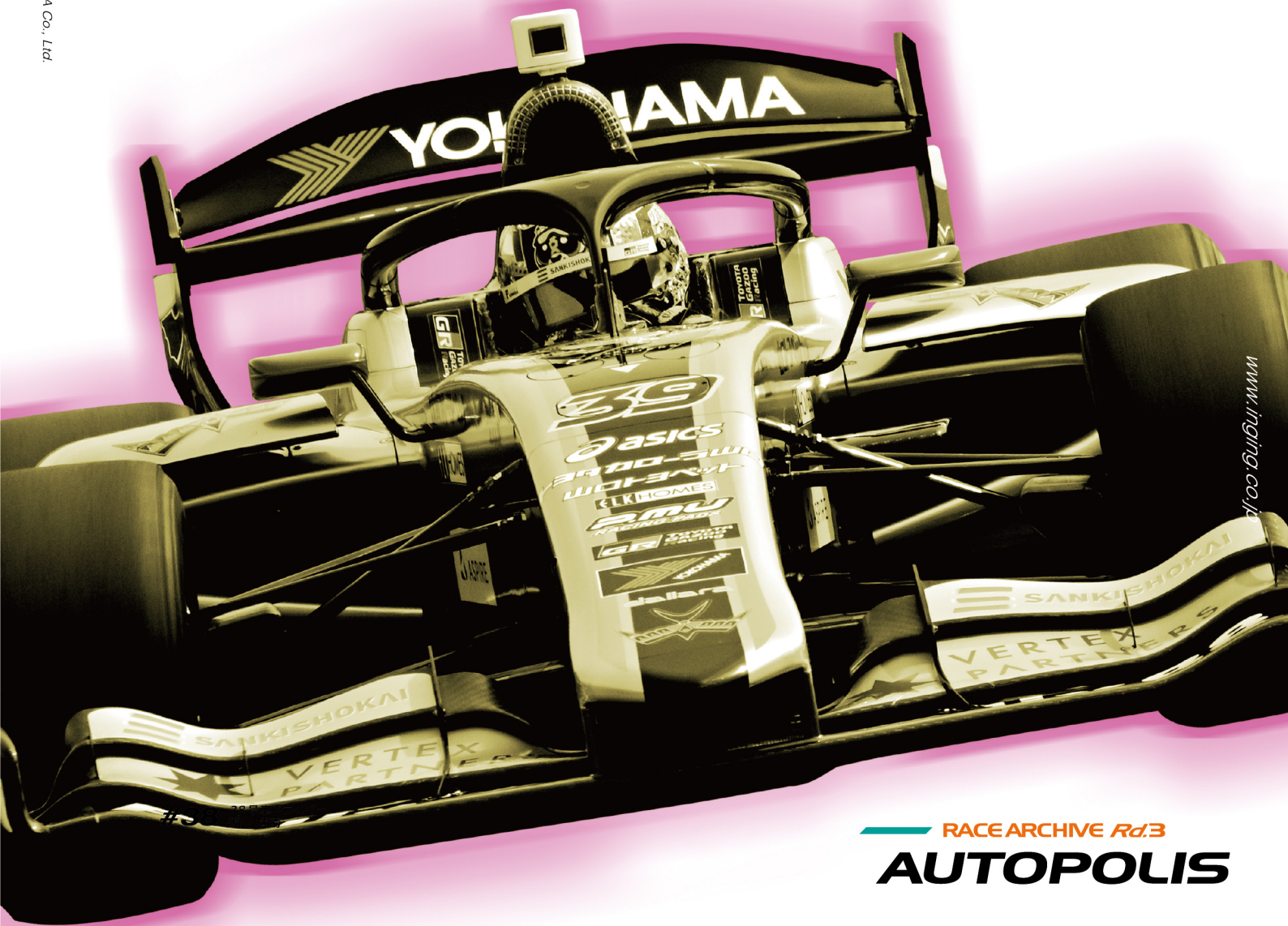


TODAY'S RACE Rd.4-5

SUZUKA CIRCUIT
23SAT-24SUN May



www.inging.co.jp

RACEARCHIVE Rd.3

AUTOPOLIS

INTERVIEW *Toshiki* OYU

ステップを
踏むことが
できた週末

#3
NEWS PAPER



#38 38号車ドライバー 阪口晴南 Sena SAKAGUCHI

RACE ARCHIVE

Rd.3 オートポリス 予選 4月25日(土) 天候:曇り 路面:ドライ

晴天から広がる雲、阪口、Q2進出へ

午前に行われたフリー走行の後もオートポリスは晴天が続いていたが、昼過ぎからやや雲が広がり、午後2時15分に始まった公式予選は曇り空のもと始まった。今回は1大会1レース制だが、ひさびさにノックアウト形式の予選はQ3まで設定されており、ポールポジションを獲得すると、シリーズのタイヤサプライヤーである横浜ゴムから、なんと賞金100万円が授与されるものとなった。そんな公式予選のQ1は、気温20度/路面温度32度というコンディションのもと始まり、まずはA組に阪口が出走した。一度ピットに戻りタイヤを交換した後、阪口はアタックラップに入っていくと、1分27秒445というタイムを記録。3番手でQ2進出を果たした。ただ、阪口にとっては午前中の好印象からはやや雰囲気が変わっていた。フリー走行から公式予選までの間に別カテゴリーの走行があり、その影響で路面が繊細に変化していたことが原因だった。



大湯も着実にQ2進出へ

午後2時30分にスタートしたB組に出走したのは大湯。こちら一度コースインしていくが、1コーナー立ち上がりでクラッシュ車両が発生し、セッションは一時赤旗中断となった。再開後、大湯は再度タイヤを温めアタックラップに入っていくと、1分27秒446というタイムを記録。フリー走行ではいまひとつな表情を浮かべていたが、予選までに調整できる部分をアジャストし、「雰囲気を変えていきましたが、根本のパフォーマンスが足りない」という状況ながらも5番手につけ、SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGは2台が揃ってQ2進出を果たした。



ステップを踏むことができた週末

ウェットコンディションとなったフリー走行2回目はあまり良いものではなかったのですが、スタート直前のウォームアップでは大きくセットアップを変え、手ごたえを感じるものになっていました。それほど走れているわけではないですし、今週厳しい状況だった中で、結果に結びついていないわけでは無いのですが、ステップを踏むことができた週末だったと思います。ファンの皆さんの前で今日レースができなかったことは残念ではありますが、今回いまひとつだったところが多かったため、代替レースになるのは問題解決のための準備ができるという意味でポジティブにとらえています。今回の問題の要因をひとつずつ分析して、次に繋げたいと思っています。



#39 39号車ドライバー 大湯 都史樹 Tashiki OYU

そして緊迫感あふれるQ3

10分間のインターバルを経て迎えたQ2。阪口、大湯ともに一度ピットアウト〜インを行い、ふたたびコースイン。ウォームアップを行っていった。このQ2はトップ10が0.5秒差に入る超僅差の争いとなったが、ここで1分26秒563というタイムを記録したのは阪口。3番手に飛び込み、見事Q3進出を果たしてみせた。一方、大湯は1分27秒163を記録するも11番手。不調が響き、Q2で公式予選を終えることになった。さらに10分間のインターバルを経て迎えたQ3は、5台のみがアタックを展開するセッション。午後3時21分に始まったQ3で、阪口は真っ先にコースインすると、ポールポジションを賭けた緊迫感あふれる中でアタックを展開していった。ここで阪口は1分26秒498を記録するも、路面の変化に対し伸びを欠き、結果は5番手となった。SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGは阪口が5番手、大湯が11番手という予選結果となった。ただ決して上位を狙えないグリッドではない。チームは荒天の予報がある決勝にしっかり対応するべく、準備を進める。

決勝

4月26日(日) 4月25日(土)に行われた公式予選では、天候:雨 路面:ウェット



決勝直前に雨は止むも

早朝こそ雨脚が強かったオートポリスだが、フリー走行直前に行われたスーパーフォーミュラ・ライツ第5戦の決勝レース直前に雨は止み、路面は少しずつ乾きはじめていた。そんな中、午前9時40分からスタートしたスーパーフォーミュラのフリー走行でSANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGの阪口と大湯は、ウェットタイヤを装着し周回を重ねていくが、「もてぎでのウェットの感触とはまったく違う印象が困惑しましたが、みんながそんな感じだったのでは」と阪口が振り返るものだった。また大湯も「良くない印象でした」というフィーリング。決勝に向けた課題が多いことを感じさせた。レースに向けて取り組みたい内容も多かったが、開始から20分というタイミングで、#3ルーク・ブラウニングがクラッシュ。赤旗中断となり、そのままフリー走行2回目は終了してしまっ。その後もオートポリスは雨は降らず、路面は少しずつ乾きはじめていたが、昼ごろにはふたたび雨が降り出した。決勝レースに向けたウォームアップでは雨脚が強まり始めるなか、阪口、大湯ともレースに向けたセットアップ変更を確認。特に大湯はウェットでのレースに向けて好感触を得ていた。レースに向けて着々と準備が進む一方で、無情にもオートポリスの雨脚は強まってしまった。午後2時30分のフォーメーションラップスタートを前に、レースコントロールはディレイが決定。午後2時48分にセーフティカー先導のもと隊列が動き出したが、雨脚が強まり、視界も悪くなった。セーフティカーランはわずか1周に満たないタイミングで赤旗に切り替えられ、ふたたびグリッド上でストップ。午後3時20分、天候の回復が見込めないため中止が決定された。

ふたたび雨、回復見込めず

前9時40分からスタートしたスーパーフォーミュラのフリー走行でSANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGの阪口と大湯は、ウェットタイヤを装着し周回を重ねていくが、「もてぎでのウェットの感触とはまったく違う印象が困惑しましたが、みんながそんな感じだったのでは」と阪口が振り返るものだった。また大湯も「良くない印象でした」というフィーリング。決勝に向けた課題が多いことを感じさせた。レースに向けて取り組みたい内容も多かったが、開始から20分というタイミングで、#3ルーク・ブラウニングがクラッシュ。赤旗中断となり、そのままフリー走行2回目は終了してしまっ。その後もオートポリスは雨は降らず、路面は少しずつ乾きはじめていたが、昼ごろにはふたたび雨が降り出した。決勝レースに向けたウォームアップでは雨脚が強まり始めるなか、阪口、大湯ともレースに向けたセットアップ変更を確認。特に大湯はウェットでのレースに向けて好感触を得ていた。レースに向けて着々と準備が進む一方で、無情にもオートポリスの雨脚は強まってしまった。午後2時30分のフォーメーションラップスタートを前に、レースコントロールはディレイが決定。午後2時48分にセーフティカー先導のもと隊列が動き出したが、雨脚が強まり、視界も悪くなった。セーフティカーランはわずか1周に満たないタイミングで赤旗に切り替えられ、ふたたびグリッド上でストップ。午後3時20分、天候の回復が見込めないため中止が決定された。



INTERVIEW @3

もてぎでのウェットとはまったく違う結果になった

フリー走行ではしっかり計測も行いましたが、もてぎでのウェットとはまったく違う結果になったので、少し困惑しました。みんながそうだったと思うのでパフォーマンスが足りないわけではないのですが、レースに向けてかなり対策しなければと感じたセッションでしたね。このオートポリスはチャンスがあるコースだと思っていたので、ドライコンディションでレースがしたかったので残念ですね。オートポリスに観戦に来てくださった皆さんには申し訳ないのですが、このレースの代替がきちんと成立すればと思っています。次の鈴鹿は苦戦することも多いですし、速い顔ぶれが割と決まっているのですが、今季上がっている僕たちのベースが通用するか楽しみです。

ステップを踏むことができた週末

ウェットコンディションとなったフリー走行2回目はあまり良いものではなかったのですが、スタート直前のウォームアップでは大きくセットアップを変え、手ごたえを感じるものになっていました。それほど走れているわけではないですし、今週厳しい状況だった中で、結果に結びついていないわけでは無いのですが、ステップを踏むことができた週末だったと思います。ファンの皆さんの前で今日レースができなかったことは残念ではありますが、今回いまひとつだったところが多かったため、代替レースになるのは問題解決のための準備ができるという意味でポジティブにとらえています。今回の問題の要因をひとつずつ分析して、次に繋げたいと思っています。

レースが出来るコンディションじゃない

チーム監督 立川祐路 Yuji TACHIKAWA

ファンの皆さんにレースをお見せすることができませんでしたし、チームとしても2台がともに上位を狙える予選グリッドを得ていたため、中止という決定はすごく残念です。ただ、天気予報でも雨がどんどん強くなる情報もありましたし、レースができるコンディションではありませんでした。とても残念に思っていますし、楽しみにしてください。皆さんには申し訳なく思っています。今回レースができなかった分、次大会の鈴鹿での2レースではチーム一丸となって良いレースができるよう、しっかり準備を進めていきたいと思っています。この週末もたくさんの応援ありがとうございました。

今後、代替レースについてはサーキット、オーガナイザー等とも協議の上決定される。

Results	#38 阪口晴南	予選 5位	決勝 中止
	#39 大湯 都史樹	予選 11位	決勝 中止